



大好き！絵本

初瀬 恵美



ゴールデンウィークも終わり、また、保育園に日常が戻ってきました。今月は、絵本からのクッキングを4回行います。その中の一つに『ぐりとぐら』のカステラがあります。『ぐりとぐら』といえば、50年以上みんなに愛されているベストセラーなので、今更紹介するまでもないと思いますが、ご紹介させていただきたいと思います。

ぐりとぐらは、双子の野ネズミ。タイトルからお分りのように、青い帽子、青いつなぎを着ているのが「ぐり」、赤い帽子、赤いつなぎが「ぐら」です。

この絵本の最大の魅力は、森で見つけた大きな卵で、カステラを作って食べることです。私は、初めて読んだ時のドキドキ感を今も覚えています。「なんて、大きな卵だろう！」「どうやって、割るんだろう？」そして、その卵をお料理する大きなボウルや大きなフライパンもまた魅力的でした。子どものみならず、大人になった今でも、とても魅了されることが多い絵本です。

絵本の冒頭やできあがるまでに歌っている「ぼくらの なまえは ぐりと ぐら このよでいちばん すきなのは おりょうりすること たべること ぐり ぐら ぐり ぐら」という歌は、あまりにも有名で、読む人がそれぞれの好きなリズムで歌い親しまれています。絵本を通して、読み手にいろいろな楽しみをプレゼントしてくれる『ぐりとぐら』。おうちの方でもぜひ、楽しんでみてください。

ちなみに園で行う「ぐりとぐらのカステラづくり」はその世界観に少しでも近づけるように、園庭にかまどを作り、ダッチオーブンで焼く予定です。作る楽しさ、焼けるまでのおいしい香りも楽しみながらできるといいなと思います。

